

センターだより

第6号

平成26(2014)年11月10日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

幼小中一貫カリキュラム作成に向けて②

2学期も後半に入り、各学校での行事も少し落ち着いてきたころかと思います。朝晩はずいぶん冷え込みますが、紅葉の美しい季節になりました。

さて、第5号のセンターだよりでご紹介しました「幼小中一貫カリキュラム」につきましては、各研究グループでの作成が始まっています。各ブロックで実際に活用してもらえるカリキュラムを目指して、各教科領域チームで精力的に活動をしており、徐々にカリキュラムのイメージも膨らんできています。今回は、その活動内容について報告します。

研究グループが中心になって作成をしています。学研や教科での研修会の折りにはぜひ、多くの先生からのご意見もいただき、それを取り入れながらより使いやすいものを作成できれば、と考えております。

国語科チーム

メンバーの自己紹介からはじまり、昨年度までの「授業改善プロジェクト」メンバーも多いことからその取組みについての情報交換、学研での取組み・研究についての交流をしました。また、「書くこと」領域についての小中学校における授業の進め方についての交流や教科書教材の確認、小学校高学年と中学校1年のつながりや「めざす子どもの姿」についての話し合いを続けています。



社会科チーム

社会科は小・中学校の若手・中堅の教諭でチームを組み、研究を進めています。9月の会議では、カリキュラム作成にあたって、社会科での子どもの育ちを意識しながら、小学校3年生から中学校3年生までのめざす子ども像について、お互いの意見を交流しました。10月には、発達に応じた社会科でめざす子ども像をより明確にして、特に思考力・判断力・表現力の観点に絞り、カリキュラム作成の方針を決めて進めています。



算数・数学チーム

まず、算数・数学チームでは、小学校と中学校のつながりをメンバーのこれまでの経験を元に共有することからスタートしました。その中で、小学校の算数から中学校の数学へとつなげていくことの大切さなどの確認を行いました。今後は、児童・生徒の発達段階を踏まえた系統的な言語活動も含めた各領域のつながりが具体的にわかりやすく把握できる小中9年間のカリキュラムが、多くの先生方につながりを確認するときや実際の授業の中での活用を図っていただければいいものになるよう、具体的な作業に入っていく予定です。



理科チーム

理科チームは、小学校、中学校、小・中学校共に指導の経験のある教員で構成し、研究を進めています。

カリキュラムの作成にあたり、まず児童・生徒の実態と課題について共通認識を持つようにしました。また、「実験は好きだが理科は嫌い」という児童・生徒がいることに対する原因は何かを検討しました。今後は児童・生徒の実態と課題に基づき、言語活動をとおして課題解決を図るための各学年におけるゴール（到達点）とゴールに向かう指導の流れについて検討し、構築していく予定です。



音楽科チーム



初回は顔合わせをし、カリキュラムを作成する領域を歌唱・器楽・音楽づくり（創作）・鑑賞・楽典と設定しました。また、小学校、中学校それぞれの音楽科の現状について交流をしました。2回目は歌唱領域・楽典についてカリキュラムの作成を開始し、小学校1年生から中学校3年生までに子どもにつけたい力を確認しました。3回目には器楽領域についてのカリキュラム作成に取り組みました。今後はカリキュラムの内容と教材との関連を整理し、評価規準を設定していく予定です。

図工・美術科チーム



カリキュラム作成にあたって、図工・美術科における言語活動を狭義に捉えず、視覚言語も扱うということや、カリキュラム表をより視覚的なものにする、また、配慮の必要な子どもへの指導を包含したインクルーシブな内容を確認しました。今後やっていきたいことは小図工、中美術の情報交換、メンバー間の授業見学、学習指導要領・教科書の特色、違い、共通点、連続性の比較確認等があります。

体育科チーム

体育科は小・中学校の学研で研究の中心となっている教諭でチームを組み、研究を進めております。カリキュラムを作成する領域を設定し、初回の会議までに小・中のカリキュラムを並べ体育科の現状について交流しました。今後、段階に応じためざす子ども像について、意見を交流し、小学校の「たのしい体育」ともリンクしながらカリキュラム作成の方向性を考えていく予定です。



食育チーム



TFE(Team Food Education)・食育チームでは、日頃の子どもたちを見ていて感じていることなど、小中の交流から始まりました。小学校での給食を活用した食育活動や中学校給食のこと、家庭科での学習活動や他教科と繋がりなど交流し、すすめています。まず、カリキュラムの内容をそれぞれ小・中で作成し、それを合体させました。もうすでに、できあがった感じもしますが、「一食作れる吹田っ子」を目指すために、さらなる取り組みに意欲を燃やしています。

英語科チーム

英語科チームでは、カリキュラム作成にあたって、まずそれぞれの学校での取組等の交流を行いました。それぞれが感じている課題や現状から、小学校1年生から中学校3年生の9年間を通して育てたい力について、検討しています。今後は、外国語活動・外国語（英語）科において各段階でのめざす子ども像を確認し、それに基づいた活動内容や評価について検討していく予定です。できるだけ多くの先生方に活用していただけるようなカリキュラムになるよう、チームで取り組んでいきたいと考えています。



キャリア教育チーム

教科・領域ではなく大きな枠組みの研究グループであることから、キャリア教育についての学習から始まりました。各学校における様々な教育活動がキャリア教育に結びつくことを確認するとともに、各教科・領域の学習内容をキャリア教育における4つのつけたい力「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」にどう関連付けるかがポイントであると考えています。今後は、カリキュラム作成に向けて、具体的な作業に入っていく予定です。



道徳チーム

最初に方向性の確認をし、内容項目毎に、小1生～中3生までの使える教材のピックアップを宿題とし、その後結果の報告および確認をしました。また、カリキュラムに記載する素材を「私たちの道徳」「吹田市の道徳副読本」「夢や志を育む教育」「大切な心を見つめ直して」「にんげん」から選ぶことを決めました。今後の予定は統一様式のカリキュラムを作成する前に、別形式でそれぞれの本から内容項目で活用できる資料やページを全てピックアップすることを考えています。



幼・小・中一貫カリキュラム作成に向けて②

～研究グループの取組～

教育センターだより10月で紹介した小中一貫教育研究グループについて、今号ではその活動内容について報告したいと思います。各教科領域チームでは精力的に活動をしており、徐々にカリキュラムのイメージも膨らんでいます。

音楽科チーム

初回は顔合わせをし、カリキュラムを作成する領域を歌唱・器楽・音楽づくり(創作)・鑑賞・楽典と設定しました。また、小学校、中学校それぞれの音楽科の現状について交流をしました。2回目からは認知領域・楽典についてカリキュラムの作成を開始し、小学校1年生から中学校3年生まで子どもにつけたい力を確認しました。今後は教材との関連を整理し、評価規準を設定していく予定です。

国語科チーム

メンバーの自己紹介からはじまり、昨年度までの「授業改善プロジェクト」メンバーも多いためことからその取組についての情報交換、学研での取組み・研究についての交流をしました。また、「書くこと」領域についての小中学校における授業の進め方についての交流や教科書教材の確認、小学校高学年と中学校1年のつながりや「めざす子どもの姿」についての話し合いを続けています。

図工・美術科チーム

カリキュラム作成にあたって、図工・美術科における言語活動を狭義に捉えず、視覚言語も扱うということや、カリキュラム表をより視覚的なものにする、また、配慮の必要な子どもへの指導を包含したインクルーシブな内容にすることを確認しました。今後やっていきたいことは小図工、中美術の情報交換、メンバー間の授業見学、学習指導要領・教科書の特色、違い、共通点、連続性等も比較確認等が広がっています。

社会科チーム

社会科は小・中学校の若手・中堅の教諭でチームを組み、研究を進めています。9月の会議では、カリキュラム作成にあたって、社会科での子どもの育ちを意識しながら、小学校3年生から中学校3年生までのめざす子ども像について、お互いの意見を交流しました。10月には、発達に応じた社会科でめざす子ども像をより明確にして、特に思考判断表現力の観点に絞り、カリキュラム作成していく方針を決めて進めています。

道徳教育チーム

最初方向性の確認をし、内容項目毎に、小1生～中3生までの使える教材のピックアップを宿題とし、その後結果の報告および確認をしました。また、カリキュラムに記載する素材を「私たちの道徳」「吹田市の道徳読本」「夢や志を育て教育」「大切な心を見つめ直して」「こんざん」から選ぶことを決めました。今後の予定は統一様式のカリキュラムを作成する前に、別形式でそれぞれの本から内容項目で活用できる資料やページを全てピックアップすることを考えています。

英語科チーム

英語科チームでは、カリキュラム作成にあたって、まずそれぞれの学校での取組等の交流を行いました。それぞれが感じている課題や現状から、小学校1年生から中学校3年生の9年間を通して育てたい力について、検討しています。今後は、外国語活動・外国語(英語)科において各段階でのめざす子ども像を確認し、それに基づいた活動内容や評価について検討していく予定です。できるだけ多くの先生方に活用していただけるようなカリキュラムになるよう、チームで取り組んでいきたいと考えています。

体育科チーム

体育科は小・中学校の学研で研究の中心となっている教諭でチームを組み、研究を進めております。カリキュラムを作成する領域を設定し、初回の会議までに小・中のカリキュラムを並べ体育科の現状について交流しました。今後、段階に応じためざす子ども像について、意見を交流し、小学校の「たのしい体育」ともリンクしながらカリキュラム作成の方向性を考えていく予定です。

キャリア教育チーム

教科・領域ではなく大きな枠組みの研究グループであることから、キャリア教育についての学習から始めました。各学校における様々な教育活動がキャリア教育に結びつくことを確認するとともに、各教科・領域の学習内容をキャリア教育における4つのつなげたい力「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来臨機能力」「意思決定能力」にどう関連付けるかがポイントであると考えています。今後は、カリキュラム作成に向けて、具体的な作業に入っていく予定です。

算数・数学チーム

まず、算数・数学チームでは、小学校と中学校のつながりをメンバーのこれまでの経験を元に共有することからスタートしました。その中で、小学校の算数から中学校の数学へとつなげていくことの大切さなどの確認を行いました。今後は、児童・生徒の発達段階を踏まえた系統的な言語活動も含めた各領域のつながりが具体的にわかりやすく把握できる小中9年間のカリキュラムが、多くの先生方につながりを確認するときや実際の授業の中での活用を図っていただけるものになるよう、具体的な作業に入っていく予定です。

理科チーム

理科チームは、小学校、中学校、小・中学校共に指導の経験のある教員で構成し、研究を進めています。カリキュラムの作成にあたり、まず児童・生徒の実態と課題について共通認識を持つようにしました。また、「実験は好きだが理科は嫌い」という児童・生徒がいることに対する原因は何かを検討しました。今後は児童・生徒の実態と課題に基づき、言語活動をおとして課題解決を図るための各学年におけるゴール(到達点)とゴールに向かう指導の流れについて検討し、構築していく予定です。

食育チーム

TFE(Team Food Education):食育チームでは、日頃子どもたちを見ていて感じていることなど、小中の交流から始めました。小学校での給食を活用した食育活動や中学校給食のこと、家庭科での学習活動や他教科と繋がりなど交流し、すすめています。まず、カリキュラムの内容をそれぞれ小・中で作成し、それを合体させてみました。もうすでに、できあがった感(笑)。が、が、が、「一食作れる吹田っ子」を目指すために、さらなる取組みに意欲を燃やしております(笑)。



11～2月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
平成26年度【吹田市立教育センター 教育研究報告会】			メイシアター (集会室・小ホール)	1月28日(水) 未定	教職員 (各園1～2名) (各校3～4名)程度
ステップアップ研修	61	ステップアップⅡ 選択研修 日本語適応指導教室「さくら広場」について学ぶ 講師 「さくら広場」スタッフほか	竹見台中学校	11月26日(水) 15:15～17:00	ステップⅡ 受講者で 選択した者
	57	「ステップアップⅠ・Ⅱ 中学校代表研究授業」 授業者 南千里中学校 教諭 清水 阿弓香	南千里中学校	12月5日(金) 14:30～17:00	ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ 中学校受講者
	56	「ステップアップⅠ 小学校代表研究授業」 授業者 豊津第一小学校 教諭 中川 早絵子	豊津第一小学校	2月19日(木) 14:30～17:00	ステップアップ研修Ⅰ 小学校受講者
	60	「ステップアップⅡ 小学校代表研究授業」 授業者 千里たけみ小学校 教諭 津村 早那	千里たけみ小学校	1月または2月 午後 実施予定	ステップアップ研修Ⅱ 小学校受講者
	58	「実践報告交流会」 実践報告・グループ協議	教育センター 研修室	2月3日(火) 15:45～17:00	ステップⅠ 受講者
スクールリーダー研修	スクールリーダー研修C	75 スクールリーダー研修C(事務職員) 「学校組織マネジメント」 講師 大阪府教育センター 主任指導主事 藤井 貞彦	教育センター 視聴室	1月15日(木) 15:30～17:00	主幹・主査
	スクールリーダー研修B	74 スクールリーダー研修B(指導教諭) 「ロジカルシンキング②ー授業に生かすロジカルシンキングー」 講師 (株)キャリアリンク	教育センター 視聴室	1月19日(月) 15:30～17:01	指導教諭
教科領域別研修	授業づくり「ICT活用」	108 「ICTを活用した授業づくり」ータブレットを活用した授業づくりー 授業者 古江台小学校 教諭 大谷 誠 単元等 6年国語	古江台小学校	11月14日(金) 14:30～17:00	教職員
	授業づくり「理科」	105 観察・実験研修「理科の研究授業」ー小中連携を意識して②ー 授業者 吹田南小学校 教諭 柳本 周治 ※小中連携のための観察・実験研修の第6回と兼ねる。	吹田南小学校	11月27日(木) 14:35～17:00	教職員
情報教育研修	361	「タブレット活用研修①」 ・タブレット本体の活用事例紹介① ・授業支援システムの使い方、教材づくり	教育センター 情報科学室	11月7日(金) 15:45～17:00	小学校 教職員
	362	「タブレット活用研修②」 ・タブレットとネットワークの連携① ・授業支援システムの使い方、教材づくり	教育センター 情報科学室	11月27日(木) 15:45～17:00	小学校 教職員
	363	「タブレット活用研修③」 ・タブレット本体の活用事例紹介② ・授業支援システムの使い方、教材づくり	教育センター 情報科学室	12月4日(木) 15:45～17:00	小中学校 教職員
	364	「タブレット活用研修④」 ・タブレットとネットワークの連携② ・授業支援システムの使い方、教材づくり	教育センター 情報科学室	12月25日(木) 15:45～17:00	小中学校 教職員
特別支援教育研修	特別支援教育事例検討研修	223 事例検討研修(行動領域②) 事例提供 市内学校園 助言 神戸親和女子大学 准教授 森田安徳 先生	夢つながり未来館 多目的会議室	11月17日(月) 15:45～17:00	教職員
	特別支援教育アドバンス研修②	218 「国語科におけるユニバーサルデザイン」 講師 筑波大学附属小学校 教諭 桂 聖 先生 ※授業づくり研修と兼ねる。	教育センター 視聴覚室	1月5日(月) 時間未定(午後)	教職員
	特別支援教育共通研修⑤	214 状況調査の結果と引き継ぎについて 講師 神戸親和女子大学 准教授 森田安徳 先生	教育センター 視聴覚室	2月3日(火) 15:45～17:00	教職員

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付する実施要項をご覧ください。

11月のさつきらるーむ(初任者教員等相談室)は、
11月11日(火)、13日(木)です。
申し込みは、教育センターまで(メールまたは研修申込にて)

☆ 研修報告 ☆

平成26年度授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ③」

「魅力ある社会科の授業をめざして」

講師 國學院大學 教授 安野 功 先生



スーパーティーチャーに学ぶ第3回目は、元文部科学省教科調査官の安野先生に、小学校社会科の授業づくりについて学びました。魅力的な社会科授業とはどんなものなのか、社会科の授業で子どもたちに問いをつくる力をつけるために、教師がどのように支援していけばいいのか、具体的な単元でワークをしながら考えることができました。子どもたち主体の問題解決学習にするために、子どもたちの素朴な問いを大切に、社会科の特性をふまえた授業展開が必要だと感じました。

【感想】

- 教材を見つけ、教材研究をすることが楽しみになりました。
- 子どもの視点から疑問を持ち、出発していくことは他教科でも活用できると思いました。
- とっつきにくいイメージのある社会科の見方やイメージが大きく変わりました。

11～1月 研修 PICK UP

特別支援教育（※授業づくり研修兼ねる）

アドバンス研修②【講座番号 218】

「（仮）国語授業におけるユニバーサルデザイン」

日時 1月5日（月）午後（2時間）

場所 教育センター 視聴覚室（2階）

講師 筑波大学附属小学校 教諭 桂 聖 先生

ユニバーサルデザインを意識した授業づくりについて、筑波大附属小学校の桂聖先生をお招きして学びます。特別な支援が必要なAさんに焦点を当てて分かりやすい授業をつくることは、算数は得意だけど国語は苦手なBさんにとってもわかりやすい授業になります。また、理解が優れているCさんも、AさんやBさんに説明をすることで本質的理解や学び直しができるのです。

そんな、クラス全員が楽しく「わかる・できる」授業のユニバーサルデザインを提案しているのが桂先生です。吹田市で、国語のユニバーサルデザインの第一人者である桂先生をお呼びする機会はなかなかありません。

本研修での学びを3学期からの実践に活かし、クラス全員が楽しく「わかる・できる」授業をめざしませんか？

お詫びと訂正

センターだより第5号の研究委嘱校紹介の中で、「吹田第三小学校」が「第三小学校」となっておりました。お詫びして訂正いたします。

情報教育研修

【講座番号 361～364】

タブレット活用研修①～④

今年9月に小学校へのタブレットPCの導入が完了し、ICTサポーターと連携した校内研修も各校で進んでいることと思います。また、中学校へも今年中にタブレットPCを導入することが決定しました。

教育センターでは、タブレットの活用を促進し、「協働型・双方向型の授業づくり」を推進することを目的とした「タブレット活用研修」を実施します。タブレット本体の機能を使った授業事例の紹介やネットワークとの連携、授業支援システム(STS)を使った教材づくりなどを通して、授業におけるICTの効果的な活用について考えていきます。年内は4回ですが、これからも行っていきますのでぜひご参加下さい。

講座番号	日時	講座名
361	11月 7日(金)	タブレット活用研修①
362	11月27日(木)	タブレット活用研修②
363	12月 4日(木)	タブレット活用研修③
364	12月25日(木)	タブレット活用研修④

時間：15：45～17：00

場所：教育センター 情報科学室（2階）

※4回とも、講座内容は異なります。

※希望者は、研修申込みシステムにてお申込みください。